輸出オリエンテーションの会（北陸ブロック）の概要

日　時：平成１９年１１月１４日（水）９：３０～１８：００
場　所：ホテルオークラ新潟（新潟県新潟市）

９：３０～ １２：００	輸出促進 セミナー	農産物や食品の輸出に意欲を有する事業者など１１７名が参加し、「海外への農林水産物加工品輸出戦略」、「生産者の立場から見た農産物輸出の実際」をテーマにした講演のほか「海外常設店舗現状報告」を実施
１３：００～ １６：００	展示・商談会	輸出の可能性を求める米生産者や味噌等の加工品業者２５社３３名が、国内外１５名のバイヤーを相手に輸出産品を積極的にＰＲ、商談を実施
１３：１５～ １４：１５	ミニ勉強会 (北陸協議会 独自開催)	食品の安全性について関心のある農業者や企業等３３名を対象に、ﾕｰﾚｯﾌﾟGAPの認証を日本で初めて受けた片山りんご㈱の片山寿伸氏から「国際的なGAPの取組について」の講演をいただいた後、GAP導入の得失について意見交換を実施
１６：３０～ １８：００	輸出産品 発掘会	展示・商談会に参加した１５事業者の米、水産物等１９品目について、バイヤーや留学生などの在日外国人など総勢７５名で試食を行い、輸出の可能性を検討

輸出促進セミナーの模様

中国で食品店を展開する上海石橋水産品有限公司石橋会長から「中国では通関に4か月を要する場合がある。賞味期限が6か月以上の商品が必要」との説明がありました。
また、生産者サイドから英国へりんごを輸出している片山りんご㈱片山氏からは、ヨーロッパの流通段階で一般化しているＧＡＰを取得することの重要性が強調されました。

展示･商談会の模様

出展者は米や水産品等、自社自慢の産品を持ち込み、輸出に向けて国内外のバイヤーに対して積極的な商談が行われました。
そのうち、いくつかの商品については、バイヤーとの間で引き続き検討が行われることとなりました。

輸出産品発掘会の模様

輸出の可能性をもつ産品を、在日外国人やバイヤーに実際に味わってもらい、輸出の可能性について意見交換が行われました。
出展された米、酒に対して、バイヤーからは「価格は高いが高品質」、参加者からは「機会があればまた、参加したい」とのコメントがありました。